

令和 6 年度 荻川地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

日時：令和 6 年 6 月 1 3 日(木)10:00～11:30

会場：荻川コミュニティセンター

【出席者】 荻川コミ協： 窪田会長、加納副会長(支え合いのしくみづくり会議構成員)、田中武則副会長、中村副会長、島倉会計、鈴木事務局長
 (敬称略) 荻川地区協議会：田中雄二会長(あおば通会長・支え合いのしくみづくり会議構成員)、加納副会長(こがね町自治会長)、
 田村事務局長(中野連合町内会長・中野 5 丁目)
 町内会長：伊藤会長(荻島自治会会長・荻島 1 丁目)、渡辺会長(車場連合町内会・車場 4 丁目)
 荻川地区民生委員児童委員協議会：中野会長(支え合いのしくみづくり会議構成員)、横山副会長、高橋会計
 福祉施設関係：野崎社会福祉士(地域包括支援センター新津)、佐藤理事長(藤の木原福祉会)、高地事務長(おぎの里)、
 佐野施設長(ショートステイすずらん施設長)、伊庭施設長(地域活動支援センターいしずえ)
 荻川地区社協：関代表(コミ協副会長)、星副代表、関副代表、五十嵐スタッフ、曾我スタッフ /計 24 名
 秋葉区社会福祉協議会：横山事務局長補佐(地区担当)、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)

【内 容】

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
見 守 り	<p>○おぎかわあったかネットの充実・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在 16 自治会・町内会で実施しており(全 28 自治会・町内会のうち)、孤立防止として取り組んでいる。 ・この見守り活動はご本人や家族から大変喜ばれている。 ・あったかネットにつながると安心でき、次へつなぐことができる。受ける側、する側、双方にとって効果は大きい。 ・利用者が減少傾向(亡くなった、施設入所等)のため、増やしていきたい。また、取り組む自治会・町内会も増やしていきたい。 	<p>○おぎかわあったかネットの拡充・継続 (自治会・町内会、民生委員、協力員、老人クラブとの連携) <u>※見守りの大切さを啓発</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員と打合せをし、新規利用者を増やす。(こがね町) ・利用したほうが良いと見受けられる高齢者への声かけをしていく。 	コミ協(地区社協) あったかネット協力員 自治会・町内会 民生委員 老人クラブ

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
見 守 り	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを知られたくない人や気になる人との関わりが難しく悩んでいたが、あったかネットをやることで関わりやすくなった。 ・中野連合町内会(1丁目～5丁目)の各町内の事情があり、あったかネットを取り組むことに難しさがあった。 ・認知症への対応はますます難しくなる課題である。 (どこまで対応したら良いか) ・認知症の定義がわからない。 ・あったかネットのカード配布対象がその町内により異なる。 (70歳以上全員に配布、希望者に配布などばらばら) カードを配布した後の見守り隊への確認が必要 ○歳末ふれあい弁当配食をとおした見守り訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・こがね町、車場3丁目を実施し、訪問対象の方々から大変喜ばれた。 ・1人暮らしの高齢者が増えているため、安心して暮らせる地域を作っていきたい。 	<p>⇒各自治会・町内会ごとのあったかネット連絡会の実施を広げたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会と民生委員が連携し、相談していきながら新たに取り組む自治会・町内会を増やしたい。 <p>○中野1～5丁目も、あったかネットの説明会を開催し、各町内会であったかネットの取り組みについて検討していきたい。</p> <p>○認知症講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：認知症の人と家族の会 等々力様 ・認知症の方との関わり方について <p>○認知症サポーター養成講座の実施</p>	<p>中野連合町内会</p> <p>コミ協(地区社協)</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
見守り	<p>○民生委員活動としての見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の友愛訪問のほか要支援者、子ども達の見守りを行っている。 ・友愛訪問も希望者が少なくなっている。 ・高齢者1人世帯、2人世帯に利用の声かけをするが、遠慮してかまだ元気に生活しているから大丈夫、子どもが近くにいるから大丈夫、隣近所に迷惑をかけたくないという声がある。 		
緊急情報キット	<p>○緊急情報キット配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協(地区社協)にてデータ管理し、全自治会・町内会長の協力により配布している。 ・緊急情報キット配布を通じた見守りを継続 ・該当者自体は多いと思われるが申込みが少ない。人に面倒を見てもらわなくてもいいという人が多い。(荻島3) ・実際にキットを活用したという例は無いが、地道な活動は大切だと思っている。(こがね町) 	<p>○緊急情報キットの配布及び情報内容の更新を継続</p> <p>○回覧板による周知</p>	<p>コミ協(地区社協) 自治会・町内会 民生委員（連携）</p>
居場所	<p>○荻川やすらぎの間（荻川地区の地域の茶の間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日の午後開催している。 ・参加者が喜んでいきいきと楽しく過ごしている。高齢者の健康維持に効果があるので参加して欲しい。 ・高齢化にともない、徐々に参加者が減っているため増やしたい。 	<p>○荻川やすらぎの間の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の孤独・孤立防止のためにも利用者を増やせるようPRしていく。 	<p>コミ協(地区社協) 藤の木原福社会</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・R6.2月に藤の木原福祉会の協力による送迎を開始し、自分で歩いてコミセンまで来られない人も安心して参加できており大変感謝されている。 <p>○高齢者の居場所が見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン、お茶会が見守りの場となっている。 ・元気な方が参加できている。それ以外の方への見守りをどうしていくかが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤の木原福祉会と連携し、支え合い移動支援を継続する。 <p>○居場所での見守りの継続</p>	お茶会(あおば通)各サロン
子どもの居場所	<p>○荻川子ども食堂（居場所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荻川子ども食堂は今年度年5回開催計画している。 ・結小学校区の子どもの居場所「川口ほうかご広場」と連携している。 ・夏場のカレーのいたみ、食中毒の心配があるので7月は川口への搬入を見合わせることにした。 ・結小学校区の子どもの遊び場が少ない。 <p>○子どもの居場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区のみらいビジョンで子どもの居場所について話し合った。 	<p>○子ども食堂と子どもの居場所の連携</p> <p>○夏休みの子どもの居場所づくりを考えた</p>	<p>コミ協 川口ほうかご広場</p> <p>コミ協</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
ひきこもり	<p>○不登校、ひきこもりの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか民生委員にひきこもりの相談が来ない。 ・ひきこもりについての現状をいかに把握するかが課題である。 ・親子共に、近所や地域、医療などどこともつながっていない人の孤立の現状がある。 ⇒いしずえに紹介して欲しい。 ・孤立している世帯が課題である。 		
防災	<p>○防災への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「我が家の避難所」を全世帯に配布している。 	<p>○「我が家の避難所」の継続（防災の意識啓発）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入者の追加配布をする。 	<p>コミ協(地区社協) 自治会・町内会 民生委員</p>
困った時の相談先	<p>○困った時の相談先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困りごとの相談先がわかるものがあると良い。 ・情報内容に変更があった場合、困らないようにすると良い。 ・身近な地域に相談するという意識が薄いように感じる。 ・福祉の相談窓口として身近な民生委員に相談してほしい。 ・高齢者の認知症に関する相談はどこにするのが良いのか。 ⇒地域包括支援センター新津へ相談 ⇒秋葉区社協に相談しても良い。(相談先につなぐ) 	<p>○相談先一覧の作成し全戸配布する。 (赤い羽根共同募金の助成金を活用)</p>	<p>コミ協(地区社協)</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
連絡会議	<p>○荻川地区の福祉活動をすすめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成3年より「荻川地域福祉推進連絡会議」を開催している。 	<p>○荻川地域福祉推進連絡会議の継続（年1回開催）</p>	<p>コミ協(地区社協)</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動を継続していくことが大切で、そのための工夫が必要である。 ・車場町内会(1丁目～5丁目)会長が同時に2年交代のため、わからないことが多いが、今までやってきた内容を取り組んでいきたい。 	<p>○福祉委員会の開催</p>	<p>車場町内会</p>
福祉施設より感想	<p>(地域活動支援センターいしずえ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議に参加させていただいて、荻川地区の地域活動がわかった。障がいがあると思われる孤立した心配な方をいしずえに紹介してほしい。ひきこもりに関する対応が得意な施設であるため、ぜひ紹介してほしい。 ・孤立していた精神疾患の方が長い過程がありやっと当施設から介護のほうに繋がった方もおられる。 ・若い時からどこにも繋がらず何十年も抱えた問題があることは知られていないと思う。 ・見守りがあることで孤独死が無くなることを切望している。地域の皆さんがこうして頑張っておられることを知り、大変良かった。 <p>(介護老人保健施設 おぎの里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守ってくれる人がいることは安心した町にし、豊かにすると感じた。 ・施設としては、入所や通所の利用者への見守りはできるがそれ以外の方にはできない。 ・当医療法人でも子ども食堂(秋葉かけはし)をやっているが、荻川コミ協で子ども食堂が行われていることも初めて知った。 ・今後もこのような会議に参加させていただければと思う。 		

(社会福祉法人 藤の木原福祉会)

- ・ 荻川地区の皆さんは素晴らしいとあらためて思った。自治会長・町内会長、民生委員、皆さんの活動が地域への思いが伝わってくる。セーフティネットとして機能していると思う。まず現状把握できるという地域の素晴らしさを感じた。
- ・ 社会福祉法人として公益的な地域貢献活動をするのが義務付けられており、荻川やすらぎの間支え合い移動支援に協力させていただいている。
- ・ 秋葉区社協、荻川地区社協さんのご協力により地域の方々と繋がりができたと思っている。会議に参加させていただくなかで、法人としてできることを考えていきたい。
- ・ 秋葉区社協が中心となる社会福祉法人連絡会がある。地域のための公益的な取り組みを法人が力を合わせて実施しているという組織になる。地域の困りごとについてお声をかけていただきたい。

(地域包括支援センター新津)

- ・ 色々な地域福祉活動が、包括で抱える課題についての支援に繋がられるのではないかと感じた。一番心配な孤立した方を支えるには繋がりが必要で、今日のお話を今後の支援の参考にさせていただきたい。
- ・ 見守りにおける認知症の対応について大変な思いをされていることがわかった。包括では認知症サポーター養成講座を開いている。認知症はこのような症状の病気、認知症の方への対応について知っていただく講座内容。多くの方に受講いただき、今後の見守りに活かしていただけたらと思う。

(ショートステイすずらん・途中退席)